

デフリンピック機運醸成イベント

「デフアスリートによる陸上教室」を開催しました

令和7年5月31日（土）に、デフリンピック機運醸成イベント「デフアスリートによる陸上教室」を開催し、盛況のうち終了しました。

当日は雨天のため、市民総合体育館内での開催となりましたが、中学生だけでなく、小学生から大学生、成人、障がいがある方の参加や、小平市聴力障害者協会のご協力をいただき、概ね50人の参加者がイベントを楽しみました。

デフ（Deaf）とは、英語で「耳がきこえない」という意味です。

デフリンピックは、国際的な「きこえない・きこえにくい人のためのオリンピック」で、4年毎に開催される デフアスリートを対象とした国際スポーツ大会です。

第1回のデフリンピックは、1924年にパリで開催され、今年開催される「東京2025(ニーゼロニーゴー)デフリンピック」は、100周年の記念すべき大会であるとともに、日本では初めての開催となります。



（イベントポスター・チラシ）

（小平市長にもご参加いただきました）



本イベントで講師を務めていただいた山田真樹選手は、1997年東京都生まれで、高等部まで東京都立中央ろう学校に通い、東京経済大学へ進学しました。東京経済大学体育会陸上競技部で活躍ののち、初出場のサムスン 2017 デフリンピックでは、200m と、4×100m リレーで金、400m で銀と、計3個のメダルを獲得した、デフ陸上をリードする存在です。



(手話に加え、多言語通訳サービスを用いて会話内容をスクリーンに投影しました。)

山田選手は、東京 2025 デフリンピック陸上競技日本代表に内定し、200m、400m、4×100mリレー、そして4×400mリレーの4種目に出場します。

山田選手より「駒沢で会いましょう!!」とメッセージをいただきました。

応援よろしくお願いいたします。



教室の様子

手話を用いたミニゲームでウォーミングアップの後、いよいよ「早く走るため」の指導を開始



本イベントでは、実際に大会で使われている『スタートランプ』を使用しました。スタートランプとは、デフアスリートには、スタート時の出発音が聞こえない（聞こえづらい）ため、発光してスタートを知らせる装置のことです。

「On your mark（位置について）」で赤、「Set（ヨーイ）」で黄、「Go（スタート）」で白にランプが点灯します。



教室終盤には、参加者全員がスタートランプに合わせ、山田選手に挑戦しました。



ご参加・ご協力いただきました皆さま、ありがとうございました。

